

平成 25 年 9 月 6 日

西鉄観光バス株式会社

モバイル型アルコール検知の不正行為に対する調査結果と再発防止策について

8 月 24 日に発生しました弊社北九州支社のバス運転士が関与したモバイル型アルコール検知の不正なすり抜け行為(以下、「不正行為」という)につきまして、本日午前 10 時、九州運輸局に対して、内部調査の結果と再発防止策を提出いたしました。

再発防止への取り組みを着実かつ迅速に進め、より厳正なアルコール検知と服務規律の徹底を図り、全社一丸となって安全の確保と信頼回復に努めてまいります。

なお、提出の概要は下記のとおりです。

記

◆ 内部調査の結果について

1. 調査の実施概要

- (ア) 各支社長による全ての乗務員(運転士 119 名、バスガイド 41 名)への個別聞き取り調査を行いました。
- (イ) 過去 1 年(2012 年 9 月 1 日～2013 年 8 月 31 日)にモバイル型検知器から送信された全ての検知画像(20,314 件)の再チェックを行いました。

2. 調査結果

7 名 68 件の不正行為、もしくは不正と疑わしき行為が確認されました。また、宿泊勤務の際に宿泊地で飲酒をする乗務員が存在したことも判明いたしました。

◆ 再発防止策について

1. すでに実施済みのもの

- (ア) ドライブレコーダーの前での検知の義務付け
モバイル型検知器で検知を行う際、バスに設置したドライブレコーダー用のモニターカメラに写る状態で行うよう内規を改めました。(8 月 25 日)
- (イ) 各支社長による乗務員への個別面談
全ての乗務員に対し、ドライブレコーダーの前での検知(上記ア)の徹底、勤務宿泊先での飲酒禁止の徹底、服務規律の遵守を求める旨の個別面談を行いました。(8 月 25 日～9 月 6 日)

(ウ) 検知画像チェックの徹底

モバイル型検知器から送信されてくる検知画像について、画像を拡大し検知の様子に不自然な点がないかを十分確認するよう内規を改めるとともに、運行管理者に徹底しました。(8月26日)

(エ) 社長訓示と拡大掲示

全ての従業員に対し服務規律の遵守を求める訓示を行うとともに、拡大掲示を行いました(8月26日～)

2. 今後実施するもの

(ア) ライブ動画による点呼

タブレット型端末を導入し、遠隔地での全ての出退勤についてライブ動画による点呼と検知を行います。(10月より順次導入)

(イ) 検知用マウスピースの改良

検知の際に使用するマウスピース(ストロー)を、加工しづらい金属製に切り替えます。(10月より導入)

(ウ) 飲酒等の抜き打ち検査

運行管理者が勤務宿泊先へ抜き打ちで出向き、飲酒の有無、所持品、点呼・検知の実施状況等进行检查します。(今月から実施)

以上